

| | | | | |
|-----------------|------|----|-------|----|
| 【担当教員名】 村山伸子 | 対象学年 | 3 | 対象学科 | 健康 |
| | 開講時期 | 前期 | 必修・選択 | 必修 |
| | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 |

【<概要>又は<一般目標：G I O>】
 公衆栄養学Ⅰ、Ⅱ、公衆栄養学実習Ⅰ、Ⅱを通じて、地域や職域等の健康・栄養問題とそれを取り巻く自然、社会、経済、文化的要因に関する情報および住民ニーズを収集分析し、保健・医療・福祉・介護システムの中で、あらゆる健康・栄養状態の者に対し適切な栄養関連サービスを提供するプログラムの作成・実施・評価の総合的なマネジメントに必要な理論と方法を修得する。公衆栄養学Ⅱでは、公衆栄養マネジメントの基本的な理論と手法について学ぶ。特に、地域マネジメントの理論、地域アセスメント、評価の手法について、シミュレーションを行いながら、参加型で学ぶ。

- 【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】
1. 公衆栄養マネジメントの概念と枠組みについて、イメージし、記述できる。
 2. 地域栄養アセスメントにおいて、質的調査法（住民参加型でニーズを把握する手法）を理解し、使うことができる。
 3. 地域栄養アセスメントにおいて、量的調査方法を理解し、使うことができる。
 4. 栄養疫学を用いた、因果関係の把握ができる。
 5. 公衆栄養全体計画に基づいた、事業計画が立案できる。
 6. 公衆栄養全体計画の評価と、事業の評価をデザインできる。

| 回数 | 授業計画又は学習の主題 | SBO | |
|----|--------------------------------------------------------------------------------|-----|--------------------|
| | | 番号 | 学習方法・学習課題又は備考・担当教員 |
| 1 | 公衆栄養マネジメントの概念、プロセス | 1 | 講義 |
| 2 | 公衆栄養の枠組みモデルと住民参加型の活動展開手法（地域づくり型、PPM、PCMなど） | 1 | 講義 |
| 3 | 地域栄養アセスメントの手法①（住民ニーズ、QOLの把握：質的方法） | 2 | 講義 |
| 4 | 地域栄養アセスメントの手法②（地域の健康・栄養状態、食事、食知識、食態度、食行動、食スキル、食環境、生活習慣、社会経済文化的環境、自然環境の把握：量的方法） | 3 | 講義 |
| 5 | 栄養疫学① 栄養疫学の概要、食事摂取量の測定方法（秤量法、24時間思い出し法、食物記録法、食物摂取頻度法、生化学的指標、身体計測値など、妥当性と信頼性） | 3,4 | 講義 |
| 6 | 栄養疫学② 暴露情報としての食事摂取量：①食事・食物・栄養素、②食事の個人内、個人間変動、③日常的平均的な食事摂取量 | 3,4 | 講義 |
| 7 | 栄養疫学③ 食事調査結果の分析・評価法（総エネルギー摂取量の栄養素摂取量に及ぼす影響を含む） | 3,4 | 講義 |
| 8 | 栄養疫学④ 各要因間の関係の分析方法 | 3,4 | 講義 |
| 9 | 栄養疫学⑤ 疫学の方法を用いた集団の栄養状態のアセスメントと評価（研究デザインと根拠のレベル） | 3,4 | 講義 |
| 10 | 公衆栄養全体計画と事業計画への展開（課題、目標の優先順位の決定） | 5 | 講義 |
| 11 | 公衆栄養プログラム（事業）の実施過程のマネジメント（地域資源のマネジメント、コミュニケーションの管理、行動科学理論の応用） | 5 | 講義 |
| 12 | 評価とモニタリング手法（プロセス評価） | 6 | 講義 |
| 13 | 評価とモニタリング手法（影響、結果評価、行政評価、経済評価） | 6 | 講義 |
| 14 | 自己評価と学習したことの見直し | 1-6 | ディスカッション |

| 【使用図書】 | <書名> | <著者名> | <発行所> | <発行年・価格・その他> |
|--------|------------------------------------------|------------|-------|--------------|
| 教科書 | 公衆栄養学（出版社未定） | | | |
| | わかりやすいEBNと栄養疫学 | 佐々木 敏 | 同文書院 | |
| 参考書 | 食事調査のすべて—栄養疫学— | Willett W. | 第一出版 | |
| | 食事調査マニュアル—はじめの一步から実践・応用まで、日本栄養改善学会、南山堂 | | | |
| | Evidence-based Nutrition EBN栄養調査・栄養指導の実際 | 佐々木 敏 | 医歯薬出版 | |
| その他の資料 | | | | |

| | |
|---------------------------------|-------------------------------------------|
| 【評価方法】 | 【履修上の留意点】 |
| 出席 20% 積極的参加 20% 期末試験 60% | 参加型の講義形式であるので、積極的に参加すること。論理的に考えることに慣れること。 |

健康栄養学科 専門